

## カリキュラム

機構施設名：鳥取職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社スベック

(B)ITスキル・活用	データベース	大量データ処理に活用するデータベース(基本編)
-------------	--------	-------------------------

コースのねらい	大量のデータを処理するために必要となる情報のデータベース化を理解し、基本的なデータベースの構築方法を習得する。
---------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
講義内容	1	データベースの概要  (1)データベースの概念 情報処理におけるデータベースの概念について説明する。  (2)データベースの構造と機能 データベースを構成する仕組みやデータベースの働きについて説明する。  (3)データベースの構築手順 大量のデータを効率よくするための、データベースを構築する手順について説明する。	3.0
	2	データベースの設計  (1)データベースの設計技法 データベースの詳細なデータモデルを作る工程で、必要な技法を説明する。  (2)データを分類し、テーブルを設計する 入力項目を分類しテーブルを分けることで、ディスク容量の無駄や入力ミスなどが起こりにくいデータベース構築ができることを説明する。	3.0
	3	抽出処理(クエリ)  (1)選択クエリ、抽出条件設定 データベースの中から指定した条件にあったレコードを選択して表示するための処理について説明する。  (2)レコードの並べ替え クエリを利用して、指定したフィールドで、昇順や降順にレコードを並べ替える方法について説明する。  (3)クエリを基にしたフォーム・レポートの作成 用途に応じて作成したクエリを基に、入力画面の作成方法や見栄えの良い印刷レイアウトに仕上げる方法を説明する。	6.0
合計時間			12.0

カリキュラム作成のポイント
データベースの概念、データベース構築・設計手順を理解したのち、データベースの作成、テーブル・クエリ・フォーム・レポートの役割を理解し、Accessの操作方法を習得できるカリキュラムにしました。売上管理データベースを例に、Access活用方法の習得を目指します。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
PC(受講人数分)、投影用ディスプレイ(受講者2人につき1台) OS: Windows10 アプリケーション: Microsoft Office Access 2013	PC(講師用)、ホワイトボード OS: Windows10 アプリケーション: Microsoft Office Access 2013
●使用するテキスト	●その他
・FOM出版 よくわかるMicrosoft Access2013基礎	受講生と受講生の間、講師の画面と同期したディスプレイを設置しています。教室前方に配置したプロジェクタにありがちな、「小さくて見えない」と言ったことがなく、自身の画面のすぐ横で確認しながら操作可能です。

利用事業主に用意を求める機器等	備考